

## 気管内吸引 気道を開通することで、呼吸困難感を軽減・肺胞でのガス交換を改善する

### 必要物品

□吸引カテーテル( Fr) □電動式吸引器 □ホース □手指消毒薬 □手袋 □水道水 □水道水を入れるコップ □吸引カテーテル保管容器 □アルコール綿 □バッグバルブマスク

手順	留意点	
1)手を洗、手指消毒、手袋をする。		
2) 吸引器を ON にし、ホースの先端を指で塞ぎ、吸引圧を調節する。	小児:80~100mmhg、 11~16kpa(吸引圧) *最大で20Kpa/150mmhg	
3)吸引カテーテルを接続する。	・吸引カテーテルは挿入する長さよりも上の部分を持ち、カテーテルの先は清潔に保持する。 ・消毒薬につけていた場合は用意してある水道水で洗う。 ・乾燥して保管していた場合は、吸引前にアルコールでカテーテルを拭く。	
4)カテーテルを挿入する。 人工鼻もしくは人工呼吸器を外し、吸引カテーテルに圧をかけない状態で、 指定された長さ( cm)まで挿入する。	気管内を傷つけない、肉芽予防のために、指定された長さより長く挿入しない。	
5)吸引カテーテルに陰圧をかけ、左右にねじるようにして痰を吸いながらゆっくりと抜く。	・一回の吸引時間は10秒前後。 (低酸素血症の予防のため) ・痰が多く吸引できる箇所があったら、そこで止めて痰を取る。	
6)吸引が終了したら、呼吸を整える(人工呼吸器を装着する、バッグバルブマスクで加圧する、酸素吸入など)	吸引後の呼吸の変化・全身状態の変化がないか確認する。	*アセスメントのポイント 肺音、SPO2 値、口腔内の状態、口唇色、チアノーゼの有無 *観察項目 痰の色や量、性状、さらに血液の混入などがないか確認。

<p>7)カテーテル内に水を通す。 カテーテルの周囲に汚れがあればアルコール綿やティッシュなどで拭き取る。乾燥または消毒薬に浸した状態で保管。</p>	<p>家族に洗浄方法を確認しておく。</p>	
---	------------------------	--

図：厚生労働省 喀痰吸引等指導者マニュアル(第三号研修)より引用

## こんなときはどうする？

### Q 吸引カテーテル挿入に抵抗がある、呼吸が苦しそうなときはどうすればいい？

・カニューレが痰で閉塞している可能性があります。(人工呼吸器装着中の場合は換気量が低下します。)おかしいと思ったら、カニューレ交換を行います。カニューレ交換をしてもカニューレが突っかかるような感じがあれば、家族に連絡し受診します。

### Q 痰が多く、一回の吸引時間が長くなりそうときは？

・一旦吸引をやめ、人工呼吸器を装着、バッグバルブマスクで加圧するなど呼吸を整えます。心拍数や顔色が安定してから再度吸引を行います。

### Q 気管内の痰に血が混じるときはどうすればいい？

・少量の場合は、その後の吸引で出血の有無を観察し、継続するようなら家族・病院へ連絡します。  
・大量に出血する場合は、生命に関わる状態のため救急要請を行い、家族・病院へ連絡します。

### Q 気管内と口鼻腔の両方吸引が必要な場合はどうすればいい？

・口鼻腔内からの痰の垂れ込みを防ぎ、痰の喀出を促すため、先に口鼻腔内吸引を行います。